

ワールドカフェの各テーブルで出された意見(全体まとめ)

○開催日:1回目 令和8年1月13日(火)午後6時00分～ 会場:高月まちづくりセンター 多目的ホール
2回目 令和8年1月20日(火)午後6時00分～ 会場:長浜市民交流センター ふれあいホール

○テーマ:「長浜ではじめる・つづける・ひろげるビジネス」

テーブル	出された意見 (課題・解決策・意見が出された経過等を含めて)	意見の取り扱い方法	担当常任委員会
1月13日 Aグループ			
1	空き家の活用とレンタルハウス 1. シェアハウスで家賃減 2. 集まりの場・アイデアを出し合える場の支援	右記委員会へ報告	産業建設常任委員会 総務教育常任委員会
2	交通インフラ、タクシーなどが不便で、事業が難しい	右記委員会へ報告	産業建設常任委員会
3	庁舎の有効活用(旧役場など)	右記委員会へ報告	総務教育常任委員会
4	事業継続の難しさ(後継者問題)	右記委員会へ報告	産業建設常任委員会
5	新しくチャレンジする事業者を増やすための施策 1. 申請の簡素化が必要 2. 若者へのアプローチ	右記委員会へ報告	産業建設常任委員会
6	長浜市の良いところを広める、発進力の強化(広告・宣伝等)	右記委員会へ報告	産業建設常任委員会 総務教育常任委員会
7	企業版ふるさと納税	右記委員会へ報告	産業建設常任委員会 総務教育常任委員会
1月13日 Bグループ			
1	自営の友人が、サラリーマンになっていく 長浜市内で働いている友人が、米原市、彦根市などへ転職していく	右記委員会へ報告	産業建設常任委員会 健康福祉常任委員会 総務教育常任委員会

2	各種補助金申請に、手続きが難しい現状を改善してほしい	右記委員会へ報告	産業建設常任委員会 健康福祉常任委員会 総務教育常任委員会
3	各支所の空きスペースの活用をしてほしい 具体的には、レンタルオフィスが欲しい 月額2万円ぐらいで 起業を始めるのに、スペースがあれば利用しやすい バイオインキュベーションを北部にも開設してほしい	右記委員会へ報告	産業建設常任委員会
4	市役所の物品入札において、以前は、国産商品が対象であったのに、格安の海外商品ばかりの入札で、一般個人商店などは、参加できないことが多い 入札方法の改善	右記委員会へ報告	産業建設常任委員会 健康福祉常任委員会 総務教育常任委員会
5	柔軟に働ける場所が少ない、子育てしながら、フルタイムでの就労は 厳しい現状を知ってほしい 子どもたちの遊び場がない 特に室内での場所がない	右記委員会へ報告	健康福祉常任委員会
6	古民家リノベーションの補助金が少ない 空き家購入に補助金が欲しい	右記委員会へ報告	産業建設常任委員会
7	若者への魅力発信のアプローチがずれている	各議員へ情報提供	

1月13日 Cグループ

1	事業を前向きに継続できるマインド支援 課題：先行き不安がある中で、事業を楽しみながら継続するための 心理的・人的支えが不足している。 対応の方向性 市：先輩事業者の事例共有、交流型勉強会の開催 事業者：経験や失敗談を共有し、支え合う関係づくり 優先度：短期～中期	右記委員会へ報告	産業建設常任委員会 総務教育常任委員会
2	異業種連携のきっかけ不足 課題：異業種連携の重要性は理解されているが、出会いや連携につ ながる場が限られている。 対応の方向性 市：業種横断型の交流会・マッチング機会の創出 事業者：自ら業種の枠を越えた関係づくりに参加 優先度：短期	右記委員会へ報告	産業建設常任委員会
3	同業種連携による事業強化が進んでいない 課題：競争意識が先行し、同業者間での連携や情報共有が十分に行 われていない。 対応の方向性 市：同業種ネットワーク形成の後押し 事業者：連携によるメリットを意識した協働の模索 優先度：中期	右記委員会へ報告	産業建設常任委員会

4	<p>行政と事業者の対等な関係性の構築</p> <p>課題: 行政が「支援する側」、事業者が「支援される側」という意識が残っている。</p> <p>対応の方向性 市: 伴走型・対話重視の支援姿勢への転換 事業者: 受け身ではなく提案型の関わり方</p> <p>優先度: 短期～中期</p>	右記委員会へ報告	<p>産業建設常任委員会 健康福祉常任委員会 総務教育常任委員会</p>
5	<p>行政支援に依存しない自立した経営意識</p> <p>課題: 補助金・支援制度への依存が強くなりがちな点が、事業の持続性に影響している。</p> <p>対応の方向性 市: 自立を促す支援設計(出口を意識した制度) 事業者: 支援を「きっかけ」と捉えた経営判断</p> <p>優先度: 中期</p>	右記委員会へ報告	産業建設常任委員会
6	<p>若者がチャレンジしやすい環境の不足</p> <p>課題: 若年層が起業・新規挑戦に踏み出すための相談先や安心感が不足している。</p> <p>対応の方向性 市: 相談窓口の明確化、チャレンジ支援制度の充実 事業者: 若者の挑戦を受け入れ、支える役割</p> <p>優先度: 中期～長期</p>	右記委員会へ報告	産業建設常任委員会
7	<p>空き家活用支援の実効性不足</p> <p>課題: 空き家を活用したい意欲はあるが、制度の分かりにくさや初期負担が障壁となっている。</p> <p>対応の方向性 市: 制度の簡素化・情報発信の強化 事業者: 活用事例の共有と新たな使い方の提案</p> <p>優先度: 中期</p>	右記委員会へ報告	産業建設常任委員会
8	<p>長浜市の魅力発信の弱さ</p> <p>課題: 住みややすさや人の温かさといった魅力が十分に外部へ伝わっていない。</p> <p>対応の方向性 市: 移住者視点を活かした情報発信 事業者: 実体験を通じた魅力の発信協力</p> <p>優先度: 中期～長期</p>	右記委員会へ報告	総務教育常任委員会
9	<p>物価高騰による将来不安への備え</p> <p>課題: 物価高騰が続く中、今後の経営見通しに対する不安が広がっている。</p> <p>対応の方向性 市: 情報提供や相談体制の整備 事業者: コスト管理や連携による対応策検討</p> <p>優先度: 短期～中期</p>	右記委員会へ報告	産業建設常任委員会
10	<p>継続的な交流・意見交換の場の不足</p> <p>課題: 単発の機会にとどまり、継続的に学び合い助け合う仕組みが不足している。</p> <p>対応の方向性 市: 定期的な意見交換会・ネットワーク化 事業者: 主体的な参加と横のつながりの維持</p> <p>優先度: 短期～長期(継続課題)</p>	右記委員会へ報告	広報広聴委員会で取り扱いを協議

1月20日 Aグループ			
1	小規模農業者同士をつなげて農業体験を進めたいと思うが、つなぐというツールがなく、その点をサポートしてもらいたい。すでにあつたとしてもその発信が、その当事者に届いていない。続けるためにネットワークをつなげる、ひろげる、支援が大事であると思う	右記委員会へ報告	産業建設常任委員会
2	有機栽培に取り組んでいる、この思いに共感する人たちをつなげる、ひろげる、として共に学ぶ場を運営する計画をしている。これはびわ湖を守る、環境にも優しい考え方であると思う、ここに集った人々をひろげる、つなげる、定住に結びつけられればと思うが、そのためには、一つの例として空き家を活用するなど。こうした情報発信が必要ではないか。農業者として、河川整備をさらに進めて、安心の提供が必要である。	右記委員会へ報告	健康福祉常任委員会 産業建設常任委員会
3	製造業を営んでいる。現在働いている方たちが数年後には高齢となるため、今もそうだが、先行きの人手不足をたいへん心配している。小規模経営のため、地元企業とのつながりが課題である。続けていきたい思いをつなげて、ひろげていくための、小規模事業者に対する支援の拡充が必要ではないか	右記委員会へ報告	産業建設常任委員会
1月20日 Bグループ			
1	長浜市は、冬時期に雪が多いので、積雪時には困る。加えて長浜市は広域なので降雪が場所により違う。雪の降雪情報が欲しい。	各議員へ情報提供	
2	公共交通機関が少ない。タクシーもない。長浜市は南北に広いので車が必要なので、小規模事業者は、燃料代が高くつく。	各議員へ情報提供	
3	事務所を借りたいが、空き状況等の情報が欲しい。	各議員へ情報提供	
4	長浜は、空港、新幹線駅など遠方に行くにはアクセスが良い。住むのは長浜が良い。また物流のライフラインが良い。	各議員へ情報提供	
5	豊富な自然を活かしたビジネスも良い。山のシェアリング、雪中キャンプや琵琶湖を活かした事業も良いのではないか。	各議員へ情報提供	
6	新商品の開発に取り組むべき。特に他社にないまた大手企業では手をつけない自社製品の開発がこれからの事業を継続していく上でカギになってくる。	各議員へ情報提供	

7	無人販売所をまちづくりセンター等でやっているが、市民の皆さんがあまり知らない。 広報の課題があるのではないか。	各議員へ情報提供	
8	農業で米では収入管理が難しい。 無農薬利用の学校給食があればよい。	各議員へ情報提供	
9	コロナ以降物価の上昇があり売上が減少傾向にある。運転資金に困っている。このままの状況が続けば廃業を考えないといけない。当然このような状況では、子どもに継承は無理。	右記委員会へ報告	産業建設常任委員会

1月20日 Cグループ

1	商品周知の支援 1. イベントの開催 2. アプリの活用 3. マルシェへの参加	右記委員会へ報告	産業建設常任委員会
2	農業の中山間地の担い手不足	右記委員会へ報告	産業建設常任委員会
3	環境を考える時代 1. 自然栽培・無農薬栽培 2. 動物との関わり方 3. 農学校	右記委員会へ報告	産業建設常任委員会
4	食を生かす取組 1. 旬な食材(その季節に食べることが大事) 2. 食療法と予防 3. 講演会活動	右記委員会へ報告	健康福祉常任委員会